

平成24年度 e・アンケートモニター
第1回アンケート NO.2 調査結果
テーマ「県産木材の利用について」

I 調査の概要

1 調査の目的

山口県では、木材の地産・地消の推進を目的に平成18年度より、県民の皆様に安心・安全な木材を利用していただけられるように、一定の品質基準が認められた県産木材を「優良県産木材」として認証するとともに、認証材を利用して建てられた住宅に助成を行っています。

この「優良県産木材使用住宅助成制度」を今後さらに効果的に行うための基礎参考とさせていただきます。

2 調査実施期間

平成24年7月31日(火)～8月14日(火)

3 調査対象

平成24年度 e・アンケートモニター 117 人

4 回答状況

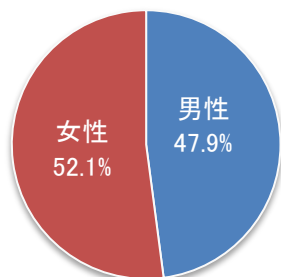
回答者 96 人(回答率 82.1%)

5 調査担当課

山口県農林水産部森林企画課

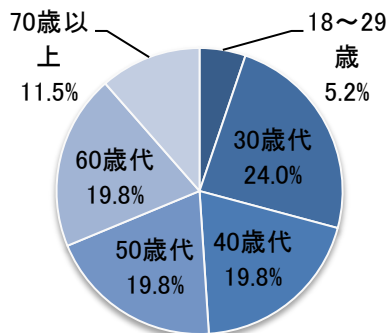
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	46	47.9
女性	50	52.1
計	96	100.0

■年代別

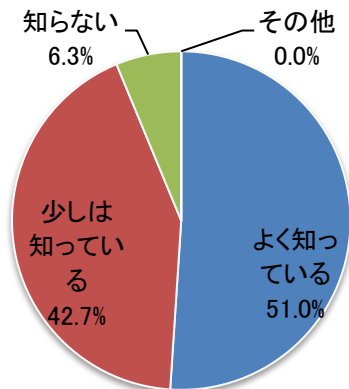


区分	人数	%
18～29歳	5	5.2
30歳代	23	24.0
40歳代	19	19.8
50歳代	19	19.8
60歳代	19	19.8
70歳以上	11	11.5
計	96	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とならない場合があります。

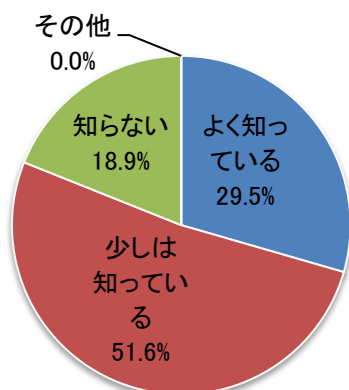
Ⅲ 調査結果

Q 1 あなたは、森林が豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収・固定するなどの役割（これらの役割を総称して「森林の持つ多面的機能」と呼ばれています）を果たしていることを知っていますか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
よく知っている	49	51.0
少しは知っている	41	42.7
知らない	6	6.3
その他	0	0.0

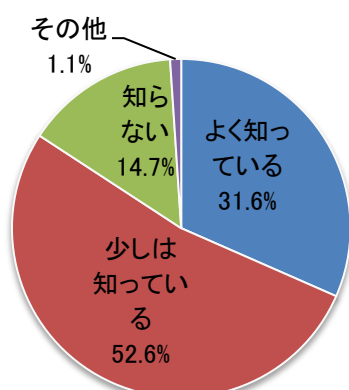
Q 2 あなたは、県土の面積の7割を超える森林が、農山村の過疎化・高齢化や担い手の減少、木材価格の低迷など林業を取り巻く経営環境の厳しさから、手入れが行き届かず、森林の持つ多面的機能の発揮が懸念される状況にあることを知っていますか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
よく知っている	28	29.5
少しは知っている	49	51.6
知らない	18	18.9
その他	0	0.0

※無回答 1名

Q 3 県産木材（県内で育ち、伐採された木材を県内の製材工場等で製材・加工された木材）を利用することが林業生産活動を通して森林の適切な整備を促進し、森林の持つ多面的機能の発揮につながることを知っていますか。（1つのみ）

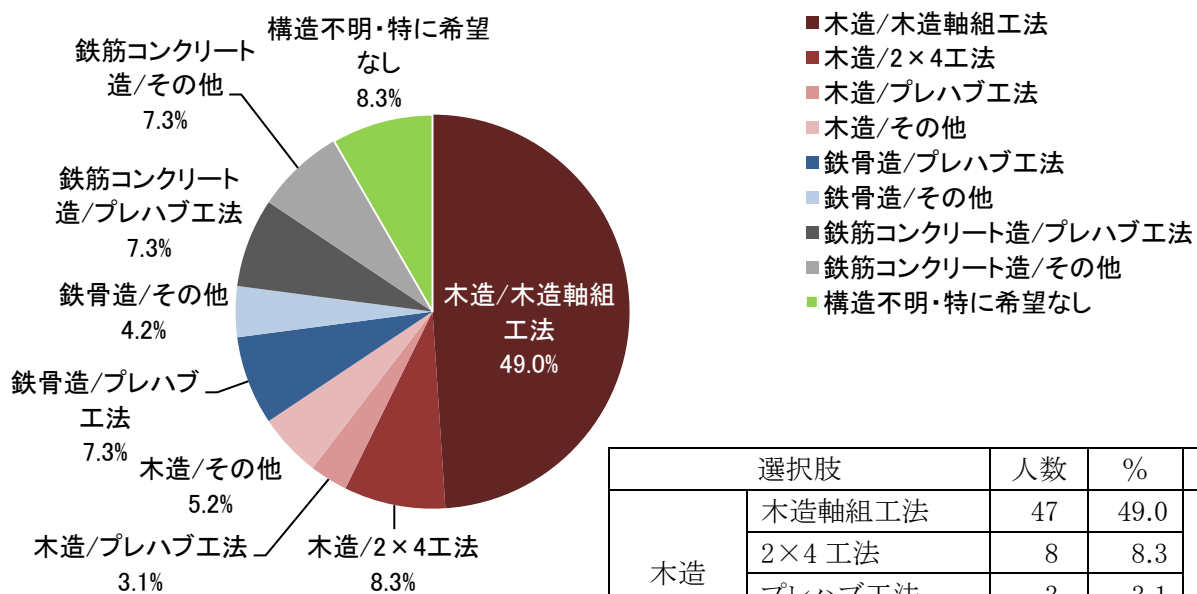


選択肢	人数	%
よく知っている	30	31.6
少しは知っている	50	52.6
知らない	14	14.7
その他	1	1.1

※無回答 1名

Q 4 住宅を取得する（した）際、どの構造や工法を希望します（しました）か。（1つのみ）

ご自身又はご家族が住宅を取得されている場合は取得した時の状況を、そうでない場合は、仮に取得することになった場合のご希望をお答えください。

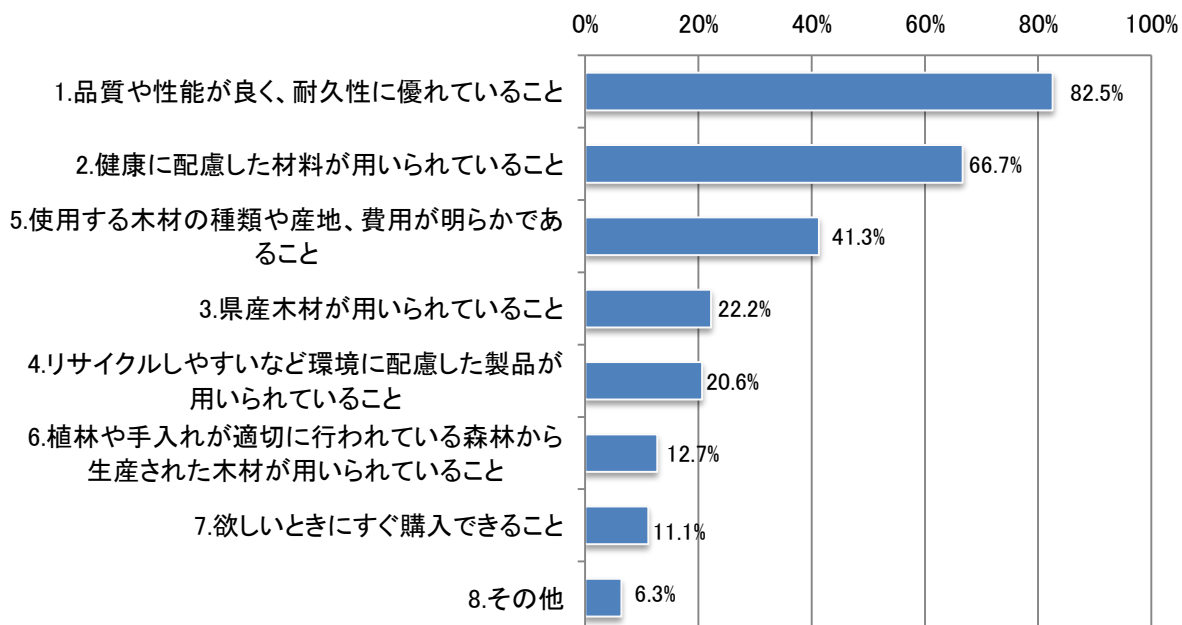


選択肢		人数	%	%
木造	木造軸組工法	47	49.0	65.6
	2×4工法	8	8.3	
	プレハブ工法	3	3.1	
	その他・工法不明	5	5.2	
鉄骨造	プレハブ工法	7	7.3	11.5
	その他・工法不明	4	4.2	
鉄筋コンクリート造	プレハブ工法	7	7.3	14.6
	その他・工法不明	7	7.3	
構造不明・特に希望なし		8	8.3	8.3

[Q 4で「木造」と回答された方へ]

Q 5 木造住宅を選ぶ時に、価格以外で重視することは何ですか。（いくつでも）

N=63（複数回答）



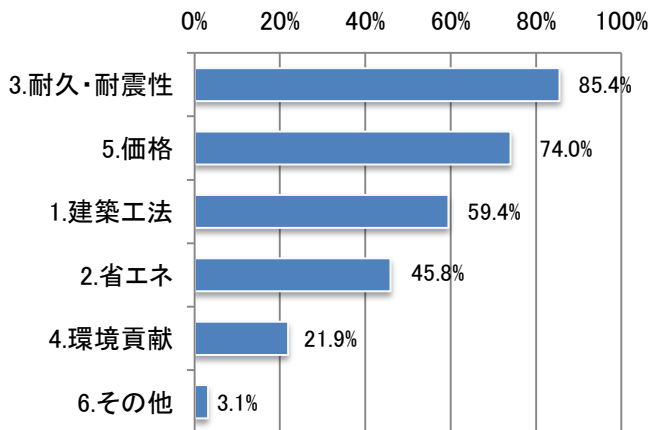
選択肢	人数	%
1.品質や性能が良く、耐久性に優れていること	52	82.5
2.健康に配慮した材料が用いられていること	42	66.7
3.県産木材が用いられていること	14	22.2
4.リサイクルしやすいなど環境に配慮した製品が用いられていること	13	20.6
5.使用する木材の種類や産地、費用が明らかであること	26	41.3
6.植林や手入れが適切に行われている森林から生産された木材が用いられていること	8	12.7
7.欲しいときにすぐ購入できること	7	11.1
8.その他	4	6.3

N=63 (複数回答)

[全ての方へ]

Q 6 住宅を取得する(した)際、重視する(した)点は何ですか。(いくつでも)

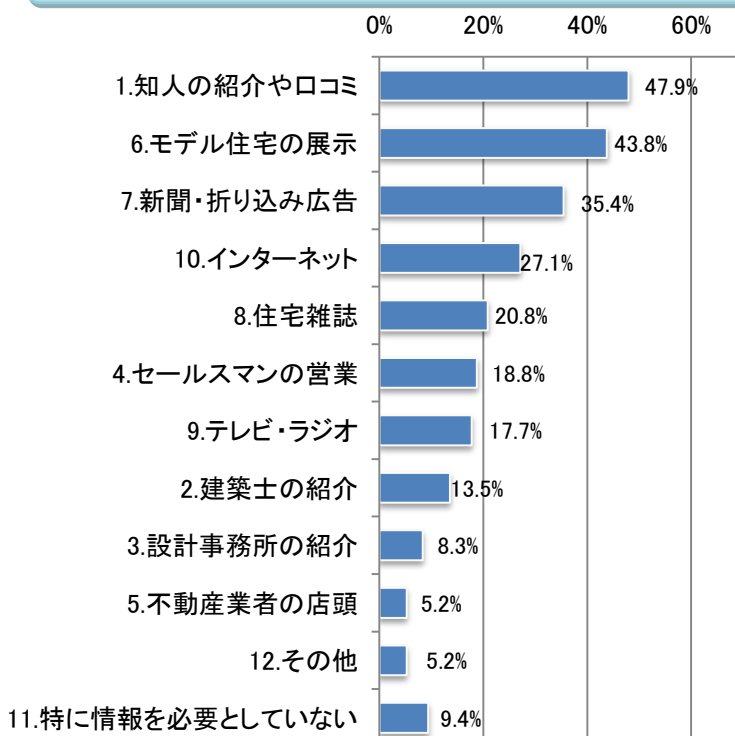
ご自身又はご家族が住宅を取得されている場合は取得した時の状況を、そうでない場合は、仮に取得することになった場合に重視したい点をお答えください。



選択肢	人数	%
1.建築工法	57	59.4
2.省エネ	44	45.8
3.耐久・耐震性	82	85.4
4.環境貢献	21	21.9
5.価格	71	74.0
6.その他	3	3.1

(複数回答)

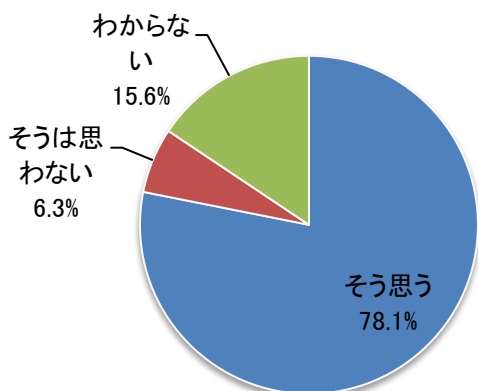
Q 7 あなたは、住宅の建築に関する情報を何から得ています(得ました)か。(いくつでも)



選択肢	人数	%
1.知人の紹介や口コミ	46	47.9
2.建築士の紹介	13	13.5
3.設計事務所の紹介	8	8.3
4.セールスマンの営業	18	18.8
5.不動産業者の店頭	5	5.2
6.モデル住宅の展示	42	43.8
7.新聞・折り込み広告	34	35.4
8.住宅雑誌	20	20.8
9.テレビ・ラジオ	17	17.7
10.インターネット	26	27.1
11.特に情報を必要としない	9	9.4
12.その他	5	5.2

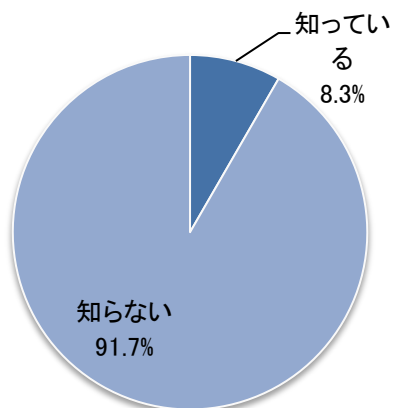
(複数回答)

Q 8 県では、木材の強度、乾燥具合などの品質が確保された「優良県産木材」の利用を推進していますが、必要だと思いませんか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
そう思う	75	78.1
そうは思わない	6	6.3
わからない	15	15.6

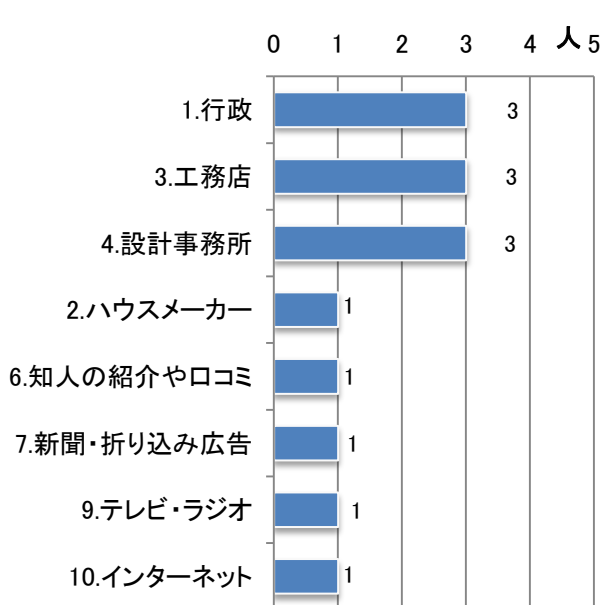
Q 9 あなたは、木材の地産・地消を進めるために県が行っている優良県産木材を利用して住宅を新築される方へ50万円を助成する制度（「優良県産木材使用住宅助成制度」）を知っていますか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
知っている	8	8.3
知らない	88	91.7

[Q9で「1. 知っている」と回答された方へ]

Q10 優良県産木材使用住宅助成制度に関する情報を何から得ましたか。(いくつでも)



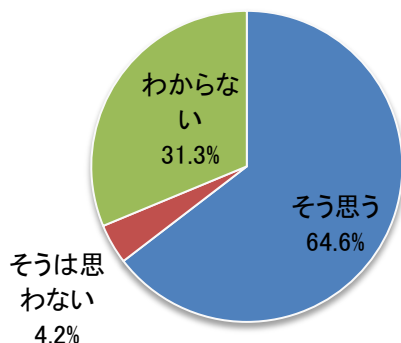
N=8

選択肢	人数	%
1.行政	3	37.5
2.ハウスメーカー	1	12.5
3.工務店	3	37.5
4.設計事務所	3	37.5
5.不動産業者	0	0.0
6.知人の紹介や口コミ	1	12.5
7.新聞・折り込み広告	1	12.5
8.住宅雑誌	0	0.0
9.テレビ・ラジオ	1	12.5
10.インターネット	1	12.5
11.その他	0	0.0

(複数回答)

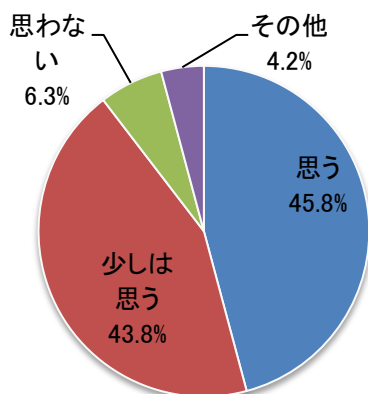
[全ての方へ]

Q11 あなたは、住宅を取得する際、優良県産木材使用住宅助成制度を利用したいと思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
そう思う	62	64.6
そうは思わない	4	4.2
わからない	30	31.3

Q12 今後住宅の建築やリフォーム等を行う際、スギやヒノキなどの県産木材を利用したいと思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
思う	44	45.8
少しは思う	42	43.8
思わない	6	6.3
その他	4	4.2